

地産地消の促進に関する令和3年度施策等の実施状況について

1 要旨・目的

ひろしま地産地消推進県民条例(平成23年広島県条例第24号)第13条の規定に基づき、令和3年度の地産地消の促進に関する施策の実施状況について公表する。

2 現状・背景

公表に際し、広島県地産地消促進計画(第3次)(令和3年3月策定)において掲げた「知ってもらおう・知る」「作る・届ける」「買う・使う」「つながる」の4つの施策推進の視点における実施状況について調査を実施した。

3 概要

(1) 調査対象

県関係課, 市町及び関係団体

(2) 調査期間

令和4年8月4日(木)～9月9日(金)

(3) 調査結果

ア 【知ってもらおう・知る】

取組の方向
<ul style="list-style-type: none"> ■ インターネットによる若い世代への積極的な情報発信 ■ 戦略に基づくイベントや店舗等での効果的なPR ■ 食の安全・安心などの普及啓発

【県の主な施策と取組成果】

事業名等	事業内容	R3取組の成果	担当局(課)
(7) ひろしま地産地消推進事業	・「ひろしま地産地消ファンクラブ」(ホームページ, フェイスブック等SNS)による県産農林水産物や直売所等の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・R3.10.1からホームページのコンテンツを拡充・デザイン等のリニューアルを行ったことで、ホームページ閲覧数の増加につながった ・ホームページ閲覧数【10/1～3/31】20,725件(前年同月比17%増) ・30歳代以下の若い世代をターゲットにSNS等を活用し、情報発信を行った ・8月にInstagram(インスタグラム)を開設した【投稿数】37件【フォロワー】158名 ・Facebook(フェイスブック)【投稿数】125件【フォロワー】5,121名(前年比2%増) 	農林水産局(販売・連携推進課)

事業名等	事業内容	R3取組の成果	担当局（課）
(イ) 6次産業化総合支援事業（広島県産応援登録制度実施事業）	<ul style="list-style-type: none"> 審査会に合格した商品の登録 登録商品のPR （専用ホームページによる実需者へのPR 量販店等でのフェアの開催等による消費者へのPR） 登録された農林水産物等の販路開拓の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 量販店等でのフェア開催数：10回 （R2：2回開催） ホームページ閲覧数 323,788回 （前年比2%減） 登録商品数 292商品 （うち新規登録商品 22商品） 	農林水産局 （販売・連携推進課）
(ウ) 食の安全・安心確保対策事業（環境にやさしい農業等推進事業）	<ul style="list-style-type: none"> 量販店等でのフェアの開催等による消費者へのGAPのPR GAP認証の意欲ある経営体への実践研修 「安心！広島ブランド」特別栽培農産物の認証及び資材の提供を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 量販店等でのフェアで、GAP商品の販売やのぼり・パンフレットを活用したPRを行った結果、消費者のGAPへの認知度向上及び理解促進を図ることができた GAP認証取得実践研修受講により1件のGAP認証取得につながった 「安心！広島ブランド」特別栽培農産物【新規認証数】198件 	農林水産局 （農業技術課）
(エ) 食の安全・安心確保対策事業（食品表示指導・監視事業）	<ul style="list-style-type: none"> 広島県食品の適正表示推進者育成講習会及びフォローアップ講習会の開催 食品表示法権限移譲市町等研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 食品関係事業者に対して、講習会を実施し、適正な食品表示を推進する核となる人材の育成を図った 【参加者数】144名 権限移譲市町研修会実施 【実施回数】2回 消費者向け啓発用資料を作成し、大手小売店、関係市町等へ配布することにより、食品表示基準の改正点の周知に取り組んだ 【配布部数】2,062部 	
(オ) 広島和牛経営発展促進事業（広島和牛ブランド創造実証事業）	<ul style="list-style-type: none"> 県内高級飲食店の来客者等への比婆牛のイメージ調査の実施 比婆牛のミネラル成分含有量と食味の関係性の調査 	<ul style="list-style-type: none"> 県内高級飲食店で比婆牛を使ったメニューを提供する営業実証を実施し、来客者・料理人から比婆牛の魅力等についてヒアリングを行い、魅力訴求ポイントを「限定性」、「味の良さやバランス」等に絞り込むことが出来た 【実施店舗数】10店舗 また、比婆牛肉の味覚調査を実施した結果、すっきりとした味わいがあり、風味やうまみが際立つとの味の傾向が確認された 営業実証や牛肉の分析結果から、ブランド化を進めていく戦略を策定した 	農林水産局 （畜産課）

事業名等	事業内容	R 3取組の成果	担当局（課）
(カ) 家畜伝染病予防事業	<ul style="list-style-type: none"> 96 か月齢以上の死亡牛全頭のBSE検査実施 家畜伝染病予防法に基づく、飼養衛生管理基準の遵守状況の確認、モニタリング調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> BSE検査を実施し、対象牛全頭陰性を確認した 【対象頭数】127頭 家畜伝染病の発生防止に関する確認を行った 【農場数】755農場 高病原性鳥インフルエンザや豚熱の発生防止のため、養鶏場での防鳥ネットの設置及び養豚場での野生動物侵入防止柵の設置の重点的な確認・指導を実施し、概ね全戸で整備されている（愛がん等少頭羽数飼養者を除く） 高病原性鳥インフルエンザについては早期に発見し、まん延を防止するため、家きん飼養農場のモニタリング検査を行い、陰性を確認していたが、全国的に鳥インフルエンザが発生（12道県25事例）し、本県でも発生した 【検査戸数】延べ131戸 	農林水産局 （畜産課）
(キ) 漁場環境・生態系保全向上対策事業	<ul style="list-style-type: none"> 貝毒プランクトン調査、貝毒検査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 貝毒プランクトン調査及び貝毒検査を実施した結果、貝毒の発生はなかった 【プランクトン調査回数】24回 【貝毒検査検体数】167検体 	農林水産局 （水産課）
(ク) 「ひろしま環境の日」行動宣言事業	<ul style="list-style-type: none"> 「エコ」に取り組む団体の登録や取組内容の情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 【登録団体数】1,658団体（新規：1件） 	環境県民局 （環境政策課）
(ケ) 食育推進事業（計画推進及び普及啓発事業）	<ul style="list-style-type: none"> 食育推進計画の推進、普及啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> 適度な運動やバランスのよい食事などの項目から選んで取り組み、記録する「けんこうチャレンジ」へ参画（生協連主催、県協賛）し、健康につながる活動をする方が増えるよう取り組んだ 【パンフレット配布数】54,750部 食生活改善推進員による訪問・対話 【実施回数】19,342件 	健康福祉局 （健康づくり推進課）

<参考：市町・関係団体の取組>

- ・地域ブランド農産物等の普及啓発
- ・地域の特産品を活用した商品開発
- ・地産地消イベント等の開催及び情報発信
- ・直売施設に対する運営支援
- ・認証店制度やマーク等を活用した地場産の可視化
- ・環境にやさしい農業の推進

【取組事例】

- ・毎月第3日曜日を～ひろしま産day～ひろしま地産地消の日として制定し、この日に合わせ、LINE（ライ

ン) や YouTube (ユーチューブ) 等でレシピ動画の配信を行っている。(広島市)

- ・ 環境に配慮した 3-R (耕畜連携資源循環ブランド) の取組をリーフレットの配布等により周知を図っている。(全農ひろしま)

【目標値に係る現況】

指標	計画策定時(年度)	直近値(年度)	目標 (R 7 年度)
県内農産物を意識して購入している人の割合 (全体) (%)	80.6 (R元)	89.4 (R 3)	現状の高水準を維持
県内農産物を意識して購入している人の割合 (30 歳代以下) (%)	71.9 (R元)	87.8 (R 3)	80
多少高くても県内産を購入する人の割合 (%)	- (R 3 調査)	56.2 (R 3)	R 3 から 10% 増
GAP 認証経営体数	46 (R元)	71 (R 3)	156

イ 【作る・届ける】

取組の方向

- 地域の核となる企業経営体の育成
- スマート農業の実装等による生産性の向上
- 新規就業者等の新たな担い手の確保・育成
- 担い手への農地集積と基盤整備
- 中山間地域農業の活性化
- 持続可能な広島和牛生産体制の構築
- かきの安定生産出荷体制の構築
- 瀬戸内の地魚の安定供給体制の構築

【県の主な施策と取組成果】

事業名等	事業内容	R 3 取組の成果	担当局 (課)
(ア) 6 次産業化総合支援事業 (広島県産応援登録制度実施事業)	・ EC サイト 出展に向けた運営事業者等によるオンライン説明会の実施	・ EC サイト 開設者に依頼し、出展説明会を開催した。 【説明会実施回数】 8 回 【参加生産者数計】 45 名	農林水産局 (販売・連携推進課)
(イ) 新規就農者育成交付金事業	・ 準備型：農業技術大学校及び市町 J A 等の研修機関での研修期間中の者に対する交付金の交付 ・ 経営開始型：人・農地プランに位置付けられた自営就農者に対する交付金の交付	【新規就業者】 124 名 (農業 84 名、畜産業 40 名) (前年比 2 % 増) ・ 新規就農者育成交付金事業利用者 【準備型】 21 名 (前年比 5 % 増) 【経営開始型】 135 名 (前年比 7 % 増)	農林水産局 (就農支援課)

事業名等	事業内容	R 3 取組の成果	担当局（課）
(ウ) ひろしま農業創生事業（園芸用農地確保支援事業）	・担い手への農地提供者に対する協力金の交付	・農地中間管理機構を通じて農地を集積した 【集積面積】502 h a (前年比4%増)	農林水産局 (就農支援課)
(エ) 農地中間管理事業	・農地中間管理機構の運営及び農地所有者への意向確認等の実施		
(オ) 農地集積加速化支援事業（機構集積協力金）	・担い手への農地集積者等に対する機構集積協力金の交付		
(カ) 経営力向上支援事業（ひろしま農業経営者学校）	・意欲ある農業経営者に対する経営者意識の醸成及び経営スキルの向上を目的とした研修の実施	・ひろしま農業経営者学校の5コース（経営開始、経営発展実践、課題解決、先進経営視察、企業経営）を実施した 【修了者数】70名 ・この結果、雇用型経営に向けた事業計画の作成に結びついた 【事業計画作成者数】30名	農林水産局 (農業経営発展課)
(キ) 農業ビジネス経営力向上事業	・経営発展の過程で直面する課題解決に向けた専門家派遣による支援	・中小企業診断士や社会保険労務士などの専門家を派遣し、法人化や雇用・労務管理など、経営体の個別課題の解決に向けた支援を実施した ・専門家派遣経営体数：67 経営体 (R 2:36 経営体)	
(ク) ひろしま型スマート農業推進事業	・ひろしま型スマート農業技術の確立と経営モデルの構築に向けた実証試験の実施 ・有利販売に向けた収穫予測システムの開発（軟弱野菜、カット用青ねぎ） ・「ひろしまスマート農業推進協議会」設立による普及啓発活動の実施	・中山間地域に対応したスマート農業を確立し、普及していくため、実証フィールドを設けプロジェクトを行った 【地区数等】3地区 安芸太田町：ほうれんそうなど軟弱野菜 東広島市：青ねぎ 世羅町：ぶどう ・「ひろしまスマート農業推進協議会」（R 3年12月設置）による講演会を実施した 【実施回数】1回	
(ケ) 園芸作物条件整備事業	・担い手による園芸作物導入や規模拡大を図るうえで支障となっている耕作条件を改善する簡易整備事業の支援	・土層改良や排水対策を支援し、園芸作物の面積拡大、単収向上に取り組んだ 【経営体数】10 経営体（5市町） 【取組面積】9.9 h a	

事業名等	事業内容	R 3取組の成果	担当局（課）
(ロ) 農業技術大学 校費事業	<ul style="list-style-type: none"> ・短期インターンシップや模擬経営実習の実施 ・オープンキャンパスの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・短期インターンシップ参加者：27名 (R 2：27名) ・模擬経営実習参加者：2名 (R 2：1名) ・オープンキャンパス 【実施回数】2回(7/3, 8/4) (R 2：2回) 【参加者数】38名(高校生等) (R 2：47名) 	農林水産局 (農業技術課)
(ハ) 鳥獣害に強い 集落等育成推進 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害対策プログラムを通じた市町への対策支援(対策技術向上の研修会開催, 被害対策実施のための講師派遣, 新技術に関する情報提供等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町が計画した鳥獣被害対策の実施に当たり, 県へ求める支援内容等を記した鳥獣被害対策プログラムが県に提出された。なお, 前年から継続しない1町は, 県の支援がなくても, 町の独自対応が可能であると判断し, プログラムを提出しなかった 【作成市町数】20市町 (R 2：21市町) ・要請に基づいて, 被害対策技術を習得するために行っているスキルアップ研修を実施したほか, 随時新技術の情報提供や, 地域での研修会への講師派遣を行った スキルアップ研修実施実績 【対象】地域で対策を指導する者 (市町職員など) 【実施回数】7回 【市町等出席者数】延べ257名 (R 2：5回, 延べ219名) 	
(シ) 広島和牛経営 発展促進事業 (経営力向上集 中支援事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・畜産経営体の人材育成 ・経営発展の課題解決に関するセミナーの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・畜産経営体に対し, 雇用管理及び飼養技術向上に向けた県域セミナーを開催し, 課題解決を図った 【開催回数】2回 ・予算・実績管理の仕組みづくり等の経営課題解決に向け, 専門家チームを派遣した 【派遣経営体数】1経営体 	農林水産局 (畜産課)
(ス) 広島和牛経営 発展促進事業 (広島血統和牛 増産事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・高い受胎率が期待できる和牛受精卵(ガラス化ダイレクト卵)の供給 ・酪農経営と肥育経営における受精卵産子の供給協定に係る取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラス化ダイレクト卵の利用を拡大させることで, 広島和牛の出産頭数の増加が見込めるため, 技術者での卵取扱い技術の定着を図った 【和牛受精卵移植頭数】35頭 ・受精卵産子の県外流出を防ぐため, 県内酪農経営体から県内肥育経営体への直接取引の拡大を図った 【取組頭数】112頭(R 2：84頭) 	

事業名等	事業内容	R 3取組の成果	担当局（課）
(e) 水産スマート化推進事業（水産資源の回復）	・デジタル技術の活用による水産資源回復に向けた漁場改善	<ul style="list-style-type: none"> ・呉市下蒲刈島及び上蒲刈島地先海域（100ha）にて、小型底びき網漁船が海底耕うんを実施した 【実施隻数】20隻/日×4日間 ・同海域にて、底質、エサ生物、魚を経時的に調査した 【地区数】1地区 ・藻場造成地区における周年の水産資源の状況を調査した 【地区数】1地区 	農林水産局（水産課）
(f) 水産スマート化推進事業（かき養殖におけるデジタル技術の活用）	・デジタル技術の活用によるかき養殖の生産安定化	<ul style="list-style-type: none"> ・幼生検知技術を導入し、採苗作業の省力化が図った 【地区数】3地区 ・水温・餌料センサーを設置し、水温等のデータに基づくへい死対策の検討を行った 【設置数】10基 	
(g) 海外展開を見据えたかき生産出荷体制の構築	・水産エコラベル認証取得の推進	・かき養殖で日本初のMEL認証取得 【認証取得件数】1件（11月）	
(h) 県営ほ場整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・水田の畑地化に係る排水対策の実施 ・農地の大区画化や再整備、農道・水路・畦畔の改良等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸作物を導入するために農地を整備した 【農地面積】32ha（R2:29ha） ※園芸作物条件整備事業等の実績も含む 	農林水産局（農業基盤課）

<参考：市町・関係団体の取組>

- ・新規就農者の技術習得や就農に必要な施設等の整備支援
- ・担い手に対する施設・機械等整備支援
- ・担い手に対する農地集積・基盤整備支援
- ・生産振興・安定供給等支援
- ・地域活性化支援

【取組事例】

- ・新たに農業に参入する市内外の企業や農業法人に生産・出荷に必要な施設の整備や機械の購入に関する支援を実施している。（呉市）
- ・直営農場の榊ハートランドひろしまで、ほうれん草や小松菜などを栽培して出荷している。（生協ひろしま）

【目標値に係る現況】

指標	計画策定時(年度)	直近値(年度)	目標 (R 7年度)
キャベツの県内消費量に占める 県内産割合 (%)	30.2 (H30)	30.0% (R元)	46
米の県内消費量に占める県内産 割合 (%)	73.0 (R2)	73.0% (R3)	80
広島和牛の県内向け出荷頭数 (頭)	3,100 (R元)	3,280 (R3)	3,460
水産物の県内市場における県内 産割合 (%)	21.8 (R元)	23.3 (R3)	24
かき生産量(むき身) (トン)	16,100 (R元)	18,200 (R3)	20,000

ウ 【買う・使う】

取組の方向

- 量販店・直売所における売場の魅力向上
- 学校における食育と給食での利活用の促進
- 飲食店等における地場産の可視化・多言語化
- フードバンク等における利活用の促進

【県の主な施策と取組成果】

事業名等	事業内容	R3取組の成果	担当局(課)
(ア) ひろしま地 産地消推進事 業	<ul style="list-style-type: none"> ・量販店内の県産農産物常設売場の演出支援 ・地産地消啓発キャンペーンの実施 ・生産者側とフードバンクや子ども食堂などをつなぐ取組 ・学校給食における地場産物活用促進に向けた県内栄養教諭との意見交換の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・直売所・インショップの担当者等を対象に、POPを活用した魅力的な売場づくりの研修会を開催し、売場の魅力向上意識を高めた 【施設数】13施設、【参加者数】25名 ・キャンペーンの応募方法を葉書からwebに変更して実施した結果、30歳代以下の割合が増加した 【実施期間】10/1～12/31 (3か月間) 【30歳代以下の割合】20.0% (前年比9.7%増) ・県内フードバンク等施設の使用状況調査を実施した ・関係機関やイベントでチラシを配布、県ホームページへ掲載することで、フードバンクの取組に係る周知を図った ・県栄養教諭との意見交換会を実施した 【回数】1回 ・学校給食における地場産物の利用促進に係る意見交換会を開催した 【開催場所】庄原市 【開催回数】2回 	農林水産局 (販売・連携推進課)

事業名等	事業内容	R3取組の成果	担当局(課)
(イ) 6次産業化総合支援事業(広島県産応援登録制度実施事業)	・首都圏等向け販売勉強会及びオンライン商談会の実施	・オンライン販売勉強会・商談会を実施し、実需者の意見や県外の販売状況を共有し、商談を行うことで、首都圏等への販路拡大を図った(11月) 【講師】(株)大丸松坂屋 オイシックス・ラ・大地(株) 【勉強会参加者数】18事業者 【商談件数】21件	農林水産局 (販売・連携推進課)
(ウ) 地場産業等振興事業(BUYひろしまキャンペーン事業)	・BUYひろしまキャンペーン(県内製品愛用運動)の実施 ・各種イベントにあわせた県産品フェアの開催 ・ホームページによる県内製品の情報発信の実施	・BUYひろしま月間(広島発の製品の消費拡大キャンペーン)を実施した 【実施時期】7月、12月 ・広島市、商工会議所、中小企業団体中央会、広島県町村会と連携し、懸垂幕等によりPRを行った ・マツダスタジアムにおける広島東洋カープ主催試合でPRを行った 【映像放映回数】22回 ・イベントへの出展等を行い、県産品のPRを行った 【回数】2回 ・SNSにより、イベント情報を発信している	商工労働局 (観光課)
(エ) 地域と連携した食育の推進	・教科等における農林水産物の栽培・収穫体験の実施 ・ICT等による給食に使われている地場産物や郷土料理等の紹介 ・地域の関係者と連携した調理実習 ・食に関する専門家等を招聘した出前講座	・栄養教諭や学校栄養職員を対象とした研修において、学校における、地域の生産者等と連携した取組や、栽培・収穫体験の実践事例を紹介した ・専門家による出前講座を実施した 【実施校数】9校	教育委員会事務局 (豊かな心と体育成課)
(オ) ひろしま給食推進プロジェクト	・広島県産の食材を活用した給食メニューの開発 ・開発したメニューの全国学校給食週間等での提供 ・食育教材の開発・活用 ・給食の時間におけるICT等による給食に使われている地場産物や郷土料理等の紹介	・広島県産の指定食材5品目(小松菜、白ねぎ、大根、はっさく、小いわし)を使用した「ひろしま給食」メニューを開発し、ホームページに掲載するとともにSNS等で広報を行った ・給食を実施している県立学校及び各市町教育委員会へ「ひろしま給食」メニューの給食用レシピを提供した ・地場産物を活用した食育教材(小いわし、大根の動画)及び「ひろしま給食」統一メニューのレシピ動画を作成し、ホームページに掲載するとともに、各県立学校及び市町教育委員会へ情報提供することによって、各学校での活用を促した	教育委員会事務局 (豊かな心と体育成課)

＜参考：市町・関係団体の取組＞

- ・売り場の魅力向上支援
- ・生産者と消費者との交流会等の実施
- ・企業、大学等との連携による地元農林水産物の利活用促進
- ・教育機関と連携した取組
- ・食育の取組
- ・学校給食への地元農林水産物の利用促進等
- ・地場産の可視化・多言語化支援

【取組事例】

- ・ 「みよしふるさとランチの日」として、三次産食材満載の学校・保育所給食の提供を6月、9月、1月の年3回実施。テーマ食材（6月：ピーマン、9月：しいたけ、1月：もち麦）の調達については、農業交流連携拠点施設を活用し、三次産農産物の利用拡大につながった。（三次市）
- ・ 大手コンビニチェーンの中国エリアで販売される商品（惣菜）用に、高野町トマト、神石高原まる豊トマト、ヒバゴンネギ、県産のアスパラガス、なす等を提供し地場産物をPRした。（全農ひろしま）

【目標値に係る現況】

指標	計画策定時(年度)	直近値(年度)	目標（R7年度）
直売所の売上（億円）	130（H30）	136（R2）	150
学校給食における地場産物を使用する割合（金額ベース）（％）	58.1（R元）	57.4（R3）	現状値よりも維持向上

エ 【つながる】

取組の方向

- イベント開催など交流機会の拡充
- 交流・協働の促進
- 移住の促進

【県の主な施策と取組成果】

事業名等	事業内容	R3取組の成果	担当局（課）
(ア) ひろしま地産地消推進事業	・管理栄養士等の養成課程のある大学等を対象とした県産農林水産物を活用したレシピ開発・PRの支援	・県産農林水産物活用によるレシピ開発や、農林漁業者・消費者等との交流やPRを実施した 【事業実施大学等数】7校（R2：5校）	農林水産局（販売・連携推進課）
(イ) ひろしまフードフェスティバル開催事業	・生産者と消費者、都市と農村の幅広い人々の交流の促進と地域特産物や農山漁村の魅力の情報発信	・新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、専用WEBサイトで「デジタルスタンプラリー」や「ライブコマース」を実施した 【閲覧回数】11,085回	
(ウ) ひろしまスタイル定住促進事業	・「都市と自然の近接性」という地域特性を生かした広島らしいライフスタイルの魅力発信 ・移住相談窓口などの移住サポート体制強化等	・移住希望地域ランキング2021【セミナー部門】1位【窓口部門】6位 ・移住・定住につながる仕組みづくりを進めた 【相談件数】4,532組 【県外からの移住世帯数】484世帯	地域政策局（地域力創造課）

＜参考：市町・関係団体の取組＞

- ・生産者と消費者との交流促進
- ・移住推進支援
- ・テレビ、ホームページ、広報誌等を活用した県内農業等の情報発信

【取組事例】

- ・農業に興味がある人・手伝いたい人や受入農家を「テゴー隊員」として登録し、テゴー隊員と手伝いを希望する農業者が援農交流すると共に、将来の農業の担い手づくりに繋げている。(R3：3回実施 尾道市)

【目標値に係る現況】

指標	計画策定時(年度)	直近値(年度)	目標 (R7年度)
年間総観光客数(全域過疎市町)(万人)	1,543 (R元)	1,114 (R3)	R4までに1,709 R4以降も同水準を維持
農林漁業体験を行った人の割合(%)	22.7 (H29)	22.7 (H29)	R5までに30以上 R6以降は食育推進計画と連動して見直し